



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成 28 年 7 月 25 日
No.121

ニホンジカ 確認



①ツキノワグマ

「カメラのすぐ近くの（ハチの）誘引捕殺器がクマに壊されていたから、気をつけて!」。先月下旬に岩崎森林事務所の首席森林官から電話連絡がありました。場所は深浦町の長慶平で、牧場跡地と国有林が接している所です。送電線の鉄塔に至る巡視路を狙ってカメラを仕掛けているのですが、やはり動物も歩きやすいところを好んで歩くのでしょう、去年もツキノワグマが度々写っていました。



②ニホンジカ

7月5日（火）に深浦町に仕掛けたカメラ13台のデータを回収して、さっそく長慶平の画像を確認したところ、やはりツキノワグマ①が写っていました。約1ヶ月の間に3回撮影されており、いずれも17時以降の時間帯です。

今年は秋田県で死亡事故も起きているし、薄暗い時間帯は気をつけないと…とつぶやきつつさらに画像の確認作業を続けると、おや、少々ツノの長いカモシカが。など見過

ごせるはずもなく、今年度早々にニホンジカ②が撮影されていました。まだツノは伸長中ですが、どうやら若いオスの様です。分布拡大の先発隊、といったところでしょうか。

長慶平の牧場跡地は草地が広がり餌は豊富ですし、溜池や沢もあるので水場にも困りません。冬期間に捕獲用のワナをどこに設置するか、今後の撮影データも加味して長慶平周辺を含めて候補地を絞り込んでいく予定です。（有本）

「白神まるごと体験博覧会」が始まりました



青森県三村知事が冒頭挨拶

世界自然遺産白神山地や周辺地域での自然体験プログラムを通じて、白神の魅力に触れてもらう「白神まるごと体験博覧会」が7月1日から9月末まで開かれ、開幕直前の6月30日（木）、西目屋村の白神山地ビジターセンターでオープニングセレモニーが開催されました。セレモニー終了後は同村内でプログラム無料体験会も行われ、木登り、トレッキング、ラフティング、パワースポット巡りなど大勢の人たちが体験しました。



目屋溪を下る「ゆるラフト体験」

当センターの職員も各プログラムに分かれて参加しましたが、一般の参加者は白神山地周辺の雄大な自然を感じたことと思います。「来たか。白神山地」をキャッチフレーズに展開される多様な体験プログラムを通じ白神山地の価値や保全の意義が発信され、多くの方々はその魅力を体感して欲しいと思います。（吉川）

「守ろう地球のたからもの」 育樹活動



雨の中、作業を行いました。

日本ユネスコ協会連盟は7月2日（土）、弘前市湯口山国有林で育樹活動を行いました。世界自然遺産「白神山地」周辺の豊かな緑の大地を未来の子どもたちに引き継いでいくため、伐採跡地に植栽し森林の再生を図っているものです。当日は、首都圏など全国から集まった三菱UFJファイナンシャル・グループ社員45名程がボランティア参加し、当センター職員などからの説明を受けながら、ブナの植栽や下草刈りの作業を行いました。あいにくの雨空となりましたが、植栽木を誤って切らないように慎重に作業を行い、徐々に鎌の扱いにも慣れ、予定された時間よりも早く作業を終了しました。（石田）

ブナ植樹フェスタ



雨の寒さのなか、参加者の明るい声が 飛び交う植樹イベントとなりました

6月30日（日）鱈ヶ沢町内の国有林にて、ブナ植樹フェスタが開催されました。このイベントは、白神山地を守る会（永井雄人代表）が未来に白神のブナ林を引き継ごうと毎年開催しているものです。

当日はあいにくの雨で冷え込む中、鱈ヶ沢高校の生徒をはじめ、多くの参加者がブナの苗木を植樹しました。

参加者は「土を掘るのは大変だ。」「リンゴの苗木植えるのと一緒にだ。」と思いに感想を述べながら丁寧に植え付けをしていました。

林内での植樹作業を終えると足早に下山。地元のおかあさん達が準備してくれた、山の幸をふんだんに使った「白神汁」を味わい、味覚でも自然を体感しました。

参加していた高校生は「テスト期間の真っ最中です。帰ってから勉強しないと・・・」と漏らしながらも「植樹を初めて体験できたことは、とても意味のあることだったと思います。」と笑顔で話してくれました。

勉強に一生懸命取り組む日々の中で、今回のイベントは最高の気分転換になったことと思います。（久保）

○その他

・安全作業の呼び掛け（安全指導）

6月25日（土）、日本山岳会青森支部の依頼により、深浦町岩崎においてブナ林再生事業を安全に行ってもらうため、作業員へ安全作業の呼び掛けを行いました。

・十二湖遊歩道危険木調査に協力

7月1日（金）、深浦町の依頼により、津軽国定公園十二湖遊歩道で関係機関と連携した危険木調査に協力しました。十二湖遊歩道では、毎年、観光客などが安全に散策できるよう枯木などの危険木調査・除去が行われています。

お知らせ

・西目屋「暗門の滝歩道」から「暗門溪谷ルート」に変更

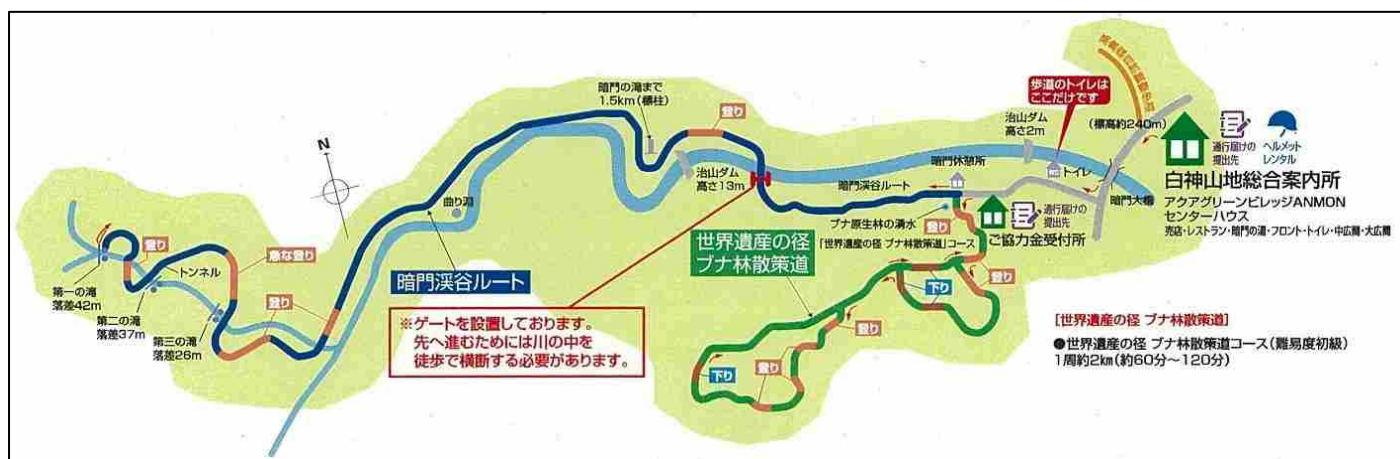
白神山地で最も有名な名勝のひとつ暗門の滝。多くの方々に利用されてきた西目屋「暗門の滝歩道」は、今期から「暗門溪谷ルート」に変更されました。「暗門溪谷ルート」の歩道の整備・管理は一切行われなくなり、登山の上級者向けルートとなります。同ルートは川の中を歩く、急な岩場の登り下り、時には泳ぐ必要があり、非常に難易度の高い危険を伴うルートです。村では「通行届」の提出、ヘルメットの着用、ガイドの同行などを強く推奨し、自己責任での入山を呼び掛けています。昨秋に落石とみられる事故が発生し、2人が怪我を負ったことから、村などで対応を検討していました。通行にあたっての注意・禁止事項など詳しくは西目屋村ホームページ、又は白神公社ホームページをご覧ください。

西目屋村HP検索ルート

西目屋村ホームページ》白神山地最新情報》暗門溪谷ルート（旧暗門の滝遊歩道）について

白神公社HP検索ルート（ガイド情報あり）

白神公社ホームページ》散策道情報》暗門溪谷ルートについて



新しい暗門周辺の散策ルート図

〈発行〉 林野庁 東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鮎ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

